

# みんな

## よくなれ

令和六年十一月二十八日発行

29 回生通信  
第 45 号

### 渋沢栄一と論語 岡本太郎と万国博覧会

二組担任 枝澤 由樹 先生

26 回生の担任だった三年前。大河ドラマ「青天を衝け」の主人公、渋沢栄一（1866 年）が話題になっていました。時は流れ、今年七月から新札の顔として世に出回っています。改めて紹介します。彼は「近代日本資本主義の父」とも呼ばれ、その生涯で設立や経営に関わった会社は五百以上になります。彼は経済とは相反すると言われた論語を取り入れました。孔子の弟子がまとめ、仁「人を愛し、思いやること」、義「欲望や損得に捉われず、自分以外の誰かのため、社会のために行動すること」、礼「謙虚な気持ちを持ち、相手に対し敬意を持って他者に接すること」、智「知識や知恵を修得し、道理をわきまえたうえで、善悪を判断すること」、信「人と約束を守り、嘘をつかず、誠実であること」の五常があります。また、論語では学問をする目的として、己の人格を磨くためとあります。さらに、知識は持っているだけではだめで、世のため、人のために使ってこそ、と述べられています。「学問」は、自己の成長につながるのです。受験勉強も一つのきっかけです。自分のために、他者のために学び続けていきましょう。さて、もう一つ紹介したいのは五十五年ぶりに大阪で開催される万国博覧会のことです。1970 年、大阪万博が人類の進歩と調和をテーマに開催されました。シンボルである太陽の塔を考えた岡本太郎さんの言葉です。「画家にしても情熱があるから、そこまで行動ができるんじゃないか、と言う人がいる。勘違いしてはいけない。逆だ。何かやろうと決意をしているから意志もエネルギーも噴き出してくるんだ。何も行動していないで、意志なんてものは無いんだ。自信はない。でも、とにかくやってみよう」と決意をする。その一瞬に賭けてみる。それだけで良い。いや、それしかない。意志を強くする方法なんてない。そんな、余計なことは考えるな。本当に、君が今やりたいことに全身全霊を懸けて、集中するんだ。何度も言おう。上手くいくとか、いかないとかそんなことはどうでもいい。結果は関係ない。自分の運命を懸けるんだ。そうすれば、必ず意志は湧いてくる。難しく余計なことを考えず、もっとシンプルでいい。シンプルにやりたいことに集中しなさい。あれこれ自分をいじくりまわさないでいい。」そう言っているんです。

過去の偉人も同じ人間。過去の歴史、人から多くを学び、自分の力に！ がんばれ受験生！

### 四組の戦績・陣容・感想

総合順位 6 位 236 点  
大縄跳び 3 位 56 回

内田悠仁・馬場美翔・尾崎梨乃・勝谷元智・川崎絢未・北尾陽希  
北川愛琉・國重彩花・小林心優・斉藤さくら・菅原碧依  
田路悠華・西塚いづみ・西山晟叶・坂東倫成・三木翔太

女子リレー 11 位 (4×100m)  
吉田朱利・駿河舞・南家亜衣・古川桜羽

男子リレー 2 位 (4×200m)  
高石弘喜・内田悠仁・勝谷元智・植田賢斗

混合リレー 14 位  
江見聡真・尾崎梨乃・進藤結以・テルファア琉偉  
バラエティリレー 1 位 (※この種目のみ学年内対抗)

(むかで) 蛭子航樹・加藤信・高石弘喜・藤井悠成・南勇希  
渡辺幹太、(宅急便) 加藤信・テルファア琉偉、(段ボール)  
植田賢斗・西山晟叶、(フラフープ) 馬場美翔・川崎絢未  
國重彩花・小林心優・斉藤さくら・菅原碧依・駿河舞・田路悠華  
(借り物) 進藤結以・古川桜羽

四組 体育委員 前期 進藤 結以 さん 西山 晟叶 さん  
後期 進藤 結以 さん 西山 晟叶 さん

総合六位

今回の体育大会は、雨のため延期で半日開催となりましたが、天候に恵まれて良かったです。私たち四組は、バラエティリレーで圧勝し、男子リレーでは全体で二位を取りました。特に大縄跳びでは、練習で 20 回前後だったのが、全員本番に強く、56 回という好成績を残すことができました。また、クラス内だけでなく、学年全体が一丸となつてがんばりました。女子リレーではこけた子もいましたが、最後までバトンを繋ぐことができました。男女混合リレーでは、走った人は一生懸命がんばって周りの応援も力になったと思います。私たちが目標としていた優勝には届きませんでしたが、高校生活最後の学校行事を全力で楽しめたと思います。この体育大会を楽しみむことができたのは、携わってくださった関係者の方々はもちろん、盛り上げてくれたクラスのみんなのおかげです。みんなありがとう！



### 五組の戦績・陣容・感想

総合順位 4 位 248 点  
大縄跳び 2 位 58 回

大隅志乃・岸本結月・末政晴己・竹中友唯・中井翔一朗  
長谷川万琴・原田陽南乃・福田優奈・福田祐真・藤田湧喜  
松田紘奈・丸山瑞誉・宮地娃衣・森田力円・山下蒼空・米本春樹

女子リレー 6 位 (4×100m)  
山本稀央・原田陽南乃・長谷川万琴・藤本菜央

男子リレー 15 位 (4×200m)  
田路祐大・中島輝・鏡翔乃介・熊橋拓海

混合リレー 2 位  
森田力円・竹中友唯・安川弥来・藤田湧喜  
バラエティリレー 3 位 (※この種目のみ学年内対抗)

(むかで) 浦川凜菜・末政晴己・田路祐大・西脇千陽・藤本菜央  
宮地娃衣、(宅急便) 藤井大和・山下蒼空、(段ボール)  
熊橋拓海・中井翔一朗、(フラフープ) 上岡みちる・川崎晴香  
岸本結月・後藤美温・日野成美・福田優奈・松田紘奈・米本春樹  
(借り物) 丸山瑞誉・安川弥来

五組 体育委員 前期 熊橋 拓海 さん 原田陽南乃 さん  
後期 熊橋 拓海 さん 藤本 菜央 さん

大縄跳び頑張った

待ちに待った体育大会。昨年は 27 クラス中 12 位だった五組が、今年は四位に入れたことが信じられません。今年で最後の体育大会ということもあって、今までで一番どの競技も協調性がありました。特に、毎年上位を目指していたバラエティリレーと大縄跳びでは、一位にはなれなかったものの、どちらも嬉しい結果を残すことができました。大縄跳びは、前日の練習で自己ベストを大幅に更新していました。「これが本番だったらなあ」や「もう無理やる」といった声もあった中、本番でも自己ベスト並の回数を跳ぶことができ、大喜びでした。僕たち三年生にとって、この体育大会が高校生活での最後の学校行事でした。この五組のみんなと協力したり助け合える行事がもうないことは悲しいですが、また大人になって、この頃の思い出を語り合えたらと思います。



# 芸術鑑賞会

十月二十四日（木）の午後芸術鑑賞会が行われました。

今年度は、男性五人によるアカペラでした。一貫して、中学の時にアカペラを鑑賞していましたが二度目の鑑賞となりました。今回は「チキンガリークステーキ」のステージでした。「チキンガリークステーキ」は一九九〇年に結成されました。二〇〇二年にメジャーデビューしてから十八枚ものアルバムを発表しています。また、NHKの「みんなのうた」で、『やさしい風』が放送されています。

MCでは、リーダーが憧れについて話されました。リーダーはさだまさしに憧れていました。それを伝え聞いたさだまさしが、自分のステージに呼んでくれて同じステージに立つようになった。だから、願っていたらばきつと夢は叶うという話は印象的でした。その縁で、さだまさしの事務所「さだ企画」に、所属しているそうです。

## メンバー

- 川上伸也（一九五九年八月十八日生まれ、リーダー、テナー）
- 前澤弘明（一九六三年七月二十九日生まれ、バリトン）
- 濱田康裕（一九六三年四月四日生まれ、テナー）
- 長谷川真一（一九七四年九月三十日生まれ、ベース）
- 渡辺敦（一九七五年一月二十四日生まれ、アレンジヤー、テナー）



## 芸術鑑賞会の感想

今年の芸術鑑賞会は、体育祭の後に開催され、例年とは違う形でした。アカペラを披露してくださったチキンガリークステーキの皆さんは、日本初のアカペラグループの方々であり、私たちの心に響く素晴らしい合奏でした。将来について悩む私たち高校生を勇気づけてくれるようなオリジナル曲から、みんなで参加ができて盛り上がる曲まで、二時間の公演があつという間に感じられるような楽しいひと時でした。また聴いてみたいです。

### 一組 文化委員

- 伊藤 葛 さん
- 尾野 ひなた さん

### 二組 文化委員

- 緒方 千紗 さん
- 菅原 瑞来 さん

## アカペラを聞いて

今回、初めて生でアカペラを聞きました。テレビで見ても、すごいなと思っていただけ、生で聞くと音で椅子が揺れたり、迫力がすごかったです。始まった瞬間からわくわくしました。知っている曲の時は、ノリノリで楽しむことができました。須磨の海を歌った「母なる海」は、街の人たちが自分たちの海を大切に思っていることが伝わってきました。私も身近な海、故郷を守って行こうと感じました。



## 芸術鑑賞会を終えて

私たちは初めて生でアカペラを聞きました。初めのうちには本当にこの演奏がアカペラなのか信じられないくらい音もたくさんあって、不思議な感覚でした。また、実際に私たちも歌ったり、手拍子したりして参加することのできる曲もあり、とても楽しくアカペラを聞くことができました。受験期なので、なかなかコンサートなどに行きませんが、受験勉強の合間に YouTube などを見て癒されたいと思います。

### 三組 文化委員

- 尾形 京香 さん
- 溝川 優 さん

## ブラックペッパー

人生で初めて生でアカペラの歌唱を聞きました。楽器などを使わずに声だけで様々な音を表現する難しさや、すごさを知りました。また、聞くだけでなく知っている曲を中高生全員でハモリに挑戦したり、あまりできない体験をすることができました。三年生はマリーゴールドのサビが担当だったので、気持ちよく歌えました。知っている曲が多かったので、手拍子をしたり、ちよつと口ずさんだりして楽しむことができました。ありがとうございました。

### 四組 文化委員

- 北川 愛琉 さん
- 蛭子 航樹 さん

## 芸術鑑賞会

スモークの演出や見たこともない機材を使って、迫力のある素晴らしい歌声を聞くことができ、良い思い出になったと思います。一度、この芸術鑑賞会でアカペラを聞いたことがあったので、アカペラを生で聞くのは今回で二回目でしたが、前回のグループとはまた違う雰囲気や音響やライトの迫力があり、心臓がバクバクしました。オリジナル曲や普段聞いているような曲など、たくさんさんの歌で楽しい時間を過ごせました。

# 願書の取り寄せ

年が明けると私立大学の出願が始まります。たとえば、関西学院は一月四日から、関西大学は一月六日からです。私立大学の願書を早めに取り寄せて、出願の準備をしましょう。共通テストは、十八、十九日に行われます。昨年よりも五日遅い実施です。実施日は遅くても、国立大学の出願締め切り日は、昨年と同じ二月五日です。出願期間が短いために、冬休みのうちに受験しそうな国立大学の願書も取り寄せておきましょう。

# 受験料や入学金の用意

国立大学の受験料は、一万七千円です。前期・中期・後期のすべてに出願すれば五万一千円になります。私立大学の受験料は三万五千円程度です。受験校は三校から五校が多いと思います。国立大学の受験前に私立大学の合格が出ます。押さえのための私立大学の入学金を払う必要があります。めでたく第一希望に合格すると入学金や授業料を払います。入学手続きにも期限があります。保護者との相談は必須です。

# 学割利用の勧め

片道百kmを超える区間の普通運賃に学割が適用されます。学割証は旅行届を担任に提出することで、発行してもらえます。片道について二割引となります。姫路を起点とした学割の一例を紹介します。目安ではありますが、安くなる金額も載せています。往復の場合はその倍の金額となりますから、ぜひ利用しましょう。

出発地	目的地	キロ数	学割	安くなる金額
姫路	大阪	250 km	×	三〇〇円
姫路	高槻	87 km	○	二〇〇円
姫路	東京	644 km	○	三〇〇円
姫路	岡山	410 km	×	九〇〇円
姫路	広島	88 km	○	九〇〇円



# 受験準備のあれこれ

第四回定期考査が十二月六日（金）から始まります。附属高校で受ける最後の定期考査です。受験のことを頭を占めていると思いますが、成績次第では、二月に補習や追認考査を受験することになります。二月になって、大学受験をしながら、追認考査の勉強もしなければなりません。そんなことにならないように、しっかり取り組みましょう。さて、定期考査後しておくべきことや、受験の準備で気をつけることなどを以下に載せます。早め早めに準備をしましょう。

## 今後の行事予定（3年生関連）

12月6日（金）	第4回定期考査初日
12月12日（木）	最終日 寮生集会
1月16日（月）	3年生午前中授業～24日 三者面談～24日
2月3日（月）	特別推薦合格者保護者説明会
2月4日（火）	全校集会
2月5日（水）	冬季休業開始
1月6日（月）	共通テスト演習
1月7日（火）	大掃除・LHR
1月8日（水）	成人の日
1月13日（金）	4限 共通テスト受験者集会
1月17日（土）	共通テスト
1月18日（日）	共通テスト
1月19日（日）	共通テスト
1月20日（月）	共通テスト自己採点 寮生を送る会
2月2日（水）	大掃除・ワックスがけ
2月3日（木）	学年集会 会場準備 中学入試会場準備
2月4日（金）	16時完全下校
2月5日（土）	中学入試・生徒登校禁止
2月6日（日）	国立出願の三者面談
2月7日（月）	公立出願の三者面談
2月8日（火）	国立出願の三者面談